

# 大学入試のプロが語る 2024年度入試はこうなる

大学入学共通テストの実施など、保護者世代とは大きく様変わりした大学入試。そもそも、なぜ入試は変わったのか？ 今の入試のしくみで押さえておくべきポイントは何か？ 入試分析の専門家に話を聞いた。



ベネッセコーポレーション  
学校カンパニー  
教育情報センター センター長  
たに もと ゆう いち ろう  
**谷本祐一郎**  
大学の情報収集や高校の取材で全国を行き来する、大学入試のプロフェッショナル。高校での講演経験も多数。

## 社会の大きな変化とともに 入試も変わっている

近年、社会はとても速いスピードで、変わりつつあります。例えば、少子高齢化。社会の担い手となる現役世代が減ることにより、働き方自体が変化すると考えられます。テクノロジーも目覚ましく進化しています。AIやロボットが社会にどんどん進出し、人間がすべき仕事も変わっていくでしょう。

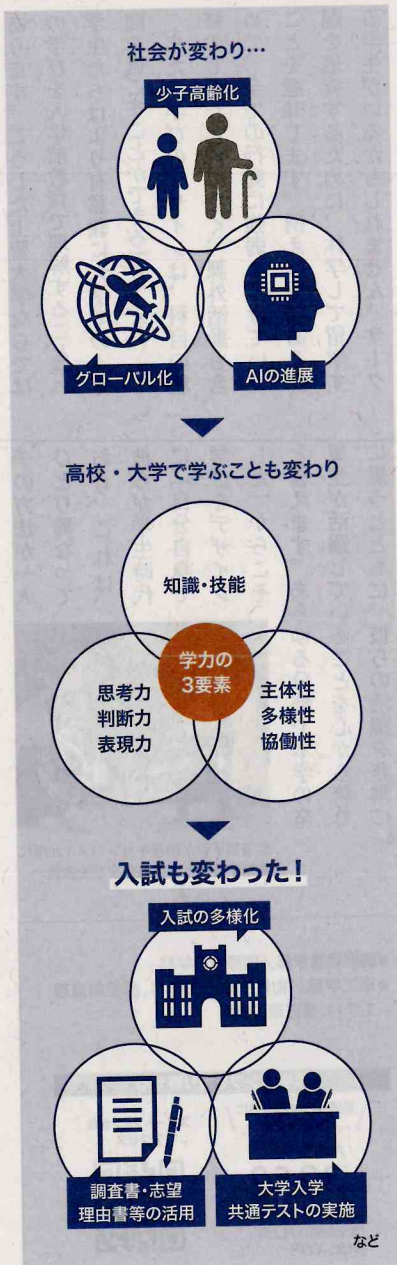
## 今の大学入試は 「学力の3要素」を測る

さらに、グローバル化の進展により、国内にいようともさまざまな国の人と一緒に働いたり、生活したりすることが増えていくのではないのでしょうか。

このように変化が激しく、先の予測が困難な時代になると、これまで正しいとされてきたやり方が通用しなくなるケースが出てきます。今後、社会で強く求められるのは「答えのない課題に立ち向かっていける人」。そうした人を育てるために、高校も大学も教育のあり方を変えつつあります。知識を習得することに加えて、その知識を活用する思考力、新しいことを学び続けようとする主体性といった「学力

## 保護者が注意すべきは スケジュール

では、具体的に入試がどう変わったのか、またそれに合わせて保護者はどう備えるべきかを見ていきましょう。まず、気をつけたいのは、総合型選抜(旧AO入試)、学校推薦型選抜(旧推薦入試)の受験者が近年ぐっと増えていることです。私立大学はもちろん、国公立大学でも総合型選抜・学校推薦型選抜で入学する人が20%近くいます



# 入試の達人

## 2024年度入試関連イベントスケジュール

時期	受験イベント
4・5月	◎進路ガイダンス・説明会 ◎奨学金の申し込み準備 ◎保護者会
6月	◎私立大学総合型選抜説明会(例年)
7・8月	◎オープンキャンパス ◎保護者会・三者面談
9月	◎大学入学共通テスト受験科目決定(目安) ◎総合型選抜出願 ◎大学入学共通テスト受験案内配付(例年)
10月	◎一般選抜・学校推薦型選抜願書取り寄せ ◎大学入学共通テスト出願(例年)
11月	◎私立大学受験校決定(目安) ◎国公立・私立大学学校推薦型選抜出願 ◎総合型選抜合格発表開始～入学手続き
12月	◎国公立大学受験校決定(目安) ◎三者面談 ◎学校推薦型選抜合格発表開始～入学手続き
1月	◎大学入学共通テスト ◎国公立大学個別学力検査出願
2月	◎私立大学一般選抜 ◎合格発表～入学手続き ◎国公立大学前期試験
3月	◎公立大学中期試験 ◎合格発表～入学手続き ◎国公立大学後期試験

※受験イベントは2023年2月時点の情報を基に作成しています。変更になる場合がありますので、最新情報をご確認ください。

(次ページ参照)。さらに、2021年度からこの2つの入試日程が後ろ倒しになりました。万が一、不合格だった場合、すぐに一般選抜へと気持ちを切り替えなければなりません。これらを受け入れる場合は、並行して一般選抜の準備をしましょう。

また、一般選抜で不合格だった場合の備えも考えておきたいところです。2月以降でも出願できる私立大学はありますし、2次募集を行う国公立大学もありますから、受験先を考えておけば現役合格を諦める必要はありません。また2025年度入試からは「新課程入試」といって、大学入学共通テスト

の出題科目が大幅に変わるなど、入試が大きく変更されます。再挑戦する場合は、現役のときに受験した入試とは異なることをふまえ、一緒に出願先を考えたりにしておきましょう。

受験するのは子ども本人とはいえ、情報収集やスケジュール管理など、保護者ができるサポートもあります。相談を受けたときに余裕をもって対応できるよう、情報はしっかりと押さえておきましょう。また、コロナ禍をきっかけに、オンラインでオープンキャンパスを実施する大学が増えました。こうしたチャンスも活用し、子どもと一緒に大学研究を進めましょう。

## 2024年度入試の知っておきたいポイント

### 大学入学共通テストは「思考力」がより強く問われる

大学入学共通テストとセンター試験の大きな違いは、「日常的な出来事や社会現象を題材にしている」「複数の資料から情報を読み取って考察する」問題が多いこと。教科の知識さえ身に付ければすんなり解けるとは限らず、教科の知識を応用して解き方から考える、「思考力」が試される試験といえます。

### 一般選抜でも重要な「志望理由書」づくり

総合型選抜や学校推薦型選抜でももちろん、一般選抜でも志望理由書を合否判定に採用する大学が出てきています。つまり、「なんとなく志望しているから」では一般選抜でも合格できない可能性があるのです。志望理由を明確にするためにも、大学調べは時間をかけて、併願校を含めて行うことが大切です。

## 徹底解説!

# 入試のしくみ

子どもをサポートするために、「入試のしくみを知る」ことはとても大切です。大学入試は近年の教育改革の影響で大きく変化しています。どのような種類の入試があり、それらがいつ行われるのか、最新情報と併せて理解し、実力を最大限生かせる受験プランを子どもと一緒に考えてください。

### 種類も内容も、名前すら違う 「今」の入試とは？

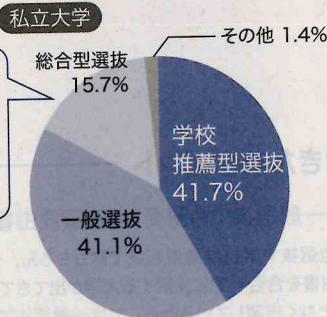
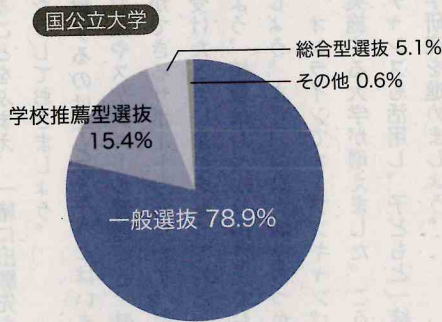
保護者世代が高校生だった頃とは異なり、入試が多様化しています。入試のしくみを知らないと、子どもの相談に乗ることもできません。入試のしくみを理解することが、保護者にできる受験対策の第一歩といえるでしょう。

入試を知ることが、合格の可能性を高めることにつながります。「得意科目を生かせる入試」「課外活動などでの努力や実績を評価する入試」など、高校時代の経験や成果を生かせる入試はないか、調べることも大切です。

さらに入試からは、その大学の学びの特徴が見えてきます。例えば、授業にグループワークを取り入れている大学では、総合型選抜にグループディスカッションを課すケースが見られます。入試を調べることは、その大学の学び方と、受験生との相性を知ることにもつながるのです。

なお近年は学校推薦型選抜、総合型選抜の人气が高まっています。20年前、推薦・AO入試で私立大学に入学した学生は全体の4割弱でしたが、2022年度には6割を超えるところまで増加しました。

### 入試制度別入学者数の割合 (2022年度)



私立大学は2人に1人以上が総合型選抜・学校推薦型選抜で入学している。

※文部科学省「令和4年度国公立大学入学者選抜実施状況」を基に作成。  
※小数点以下1位未満を四捨五入して算出した割合のため合計100%にならない場合があります。

### 大学入試の主な方式(選抜区分)

#### 一般選抜

(旧:一般入試)

#### 学力を重視した選抜

##### 国公立大学

- 原則「大学入学共通テスト」+「個別学力検査」
- 多くの大学で、大学入学共通テストに5教科(ないし6教科)7科目課す
- 個別学力検査は記述式、論述式が多い
- 配点パターンは大学によって異なる

##### 私立大学

- 一般的に3科目程度、課すケースが多い
- 「共通テスト利用入試」「全学統一入試」など、大学ごとに多様な入試方式がある
- 得意科目を生かした受験が可能

#### 総合型選抜・学校推薦型選抜

(旧:AO入試)

(旧:推薦入試)

#### 書類審査、小論文、面接が中心

- 高校での学業成績、部活、行事で取り組んだことなどを見て、総合的に判断
- 大学入学共通テストなどの学力試験を課す大学もある。また筆記試験を課さない場合も、高校の成績を評価するなど、何らかの形で学力を評価する
- 学校推薦型選抜は、学校長推薦が必要(原則)
- 総合型選抜は、学校長推薦が不要(原則)
- 一般選抜よりも早い時期に実施される

# 大学入学 共通テスト

センター試験に代わる試験  
大多数の子どもが受験する

## 国公立・私立を問わず 多くの大学が利用する入試

2021年度から大学入試センター試験に代わり、大学入学共通テストが導入されました。これは1月中旬の土・日曜2日間にわたって実施される、全国共通の試験です。国公立大学の1次試験として用いられるほか、多くの私立大学も利用しています。ただし、どの教科・科目を合否判定に採用するかは大学によって異なるので、各大学の情報を必ず確認してください。

2023年度の大学入学共通テストは、国公立大学・短期大学などを合わせて、過去最大の870大学が利用。志願者数は51万2581人でした。

受験生は6教科30科目の中から大学が指定した教科・科目を受験します。国公立大学は5または6教科7科目、私立大学は2、3教科・科目が一般的です。共通テストの形式は、センター試験同様に「マーク式」のみですが、「前問の解答と連動して正答の組み合わせが複数ある問題（連動型問題）」など、新しい形式のものが出題されます。共通テストでは、グラフや地図、写真など、複数の資料から内容を読み取り、考察するタイプの問題が増えました。

## 2024年度 大学入学共通テスト出題教科配点一覧

教科	グループ	出題科目	科目選択の方法	試験時間(配点)
国語		『国語』		80分(200点)
地理 歴史		『世界史A』『世界史B』 『日本史A』『日本史B』 『地理A』『地理B』	10科目のうち最大2科目を選択する。 同一名称を含む科目の組み合わせで2科目選択は不可。受験科目数は出願時に申請する。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
公民		『現代社会』『倫理』 『政治・経済』 『倫理、政治・経済』		
数学	①	『数学Ⅰ』 『数学Ⅰ・数学A』	2科目のうちから1科目を選択する。	70分(100点)
	②	『数学Ⅱ』 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	4科目のうちから1科目を選択する。	60分(100点)
理科	①	『物理基礎』『化学基礎』 『生物基礎』『地学基礎』	8科目から下記のいずれかの選択方法により選択する。 A:理科①から2科目 B:理科②から1科目 C:理科①から2科目と理科②から1科目 D:理科②から2科目 受験科目の選択方法は出願時に申請する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点)  【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
	②	『物理』『化学』 『生物』『地学』		
外国語		『英語』『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』『韓国語』	5科目のうちから1科目を選択する。	【英語】 リーディング80分(100点) リスニング60分(うち解答時間30分)(100点) 【英語以外】 筆記80分(200点)

※大学入試センター「令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等」から抜粋。

## 大学入学共通テスト利用 の私立大学・短期大学の 割合(2023年度)

共通テスト利用入試を行う私立大学は年々増え、全私立大学の約9割に上る。



※文部科学省「令和4年度学校基本調査」、大学入試センター「令和5年度大学入学共通テスト利用大学・専門職大学・短期大学数について」を基に作成。

# 国公立大学 個別試験

共通テストの受験が前提  
前期日程を重視

## 共通テストが 1次試験として課される

一部の大学・学部を除き、国公立大学は共通テストと大学別に実施する個別試験（2次試験）の結果によって合否を判定します。大学・学部によって共通テストの点数が一定以上でないとは個別試験を受けられない「2段階選抜」を実施するケースもあります。

個別試験の出願期間は1月下旬から10日間程度。締め切り直前に慌てないよう、出願については事前にしっかりと考えておきましょう。

## 3回まで受験可能だが 前期日程が一番の勝負どころ

多くの国公立大学は個別試験の日程を前期・後期に分ける「分離分割方式」を採用しています。さらに、一部の公立大学は、これとは別に「中期日程」を実施しており、最大3回の受験チャンスがあります。ただし、前期日程に合格して入学手続きを行うと、中・後期日程の受験資格は失われます。近年は総合型選抜、学校推薦型選抜の定員を拡大し、後期日程を廃止・縮小する動きがあります。第1志望校は前期日程で受験するのが基本といえるでしょう。

## 大学によって異なる 配点パターン

全体の募集人員の約6割を占める前期日程では、多くの大学が2〜3教科の学科試験を課します。一方、後期日程は1、2教科に減らすケースや、小論文、面接、総合問題など、学力試験以外の方法を採用する大学が多くなっています。なお、出題傾向や、科目ごとの配点、共通テストと個別試験の配点比率は大学によって大きく異なります。受験対策に影響するので、気になる大学は早めにチェックしましょう。

## 2023年度 国公立大学入学者選抜 個別試験の概況

### [各日程の募集人員の割合]



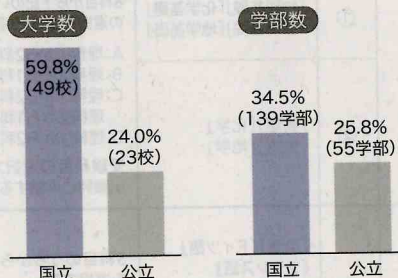
※小数点以下1位未満を四捨五入して算出した割合のため  
合計100%にならない場合があります。

### [学科試験以外の大学の試験内容(延べ数)]



※学部内の募集単位により選抜方法が異なる場合には、それぞれの箇所計上しています。

### [2段階選抜を実施する大学の割合]



※文部科学省「令和5年度国公立大学入学者選抜の概要」を基に作成。  
データは令和4年7月末現在で集計したものです。

# 私立大学 一般選抜

さまざまな入試方式で  
合格の機会を広げられる

多様な入試方式を理解し  
子どもに合った受験を考える

私立大学の一般選抜は、文系学部は国語、外国語、選択教科（地歴・公民・数学）、理系学部は数学、理科、外国語の3教科が大半です。また、ほとんどの大学が「共通テスト利用入試」や「全学部統一入試」など、さまざまな入試方式を設けています。例えば「共通テスト利用入試」は、共通テストの結果だけで合否が決まる入試。一回の受験で複数の大学・学部に出願できる点特徴です。また、共通テストの実施後に出席期間が設けられている「後期」型の入試を実施している場合、共通テストの結果を確認してから出願することもできます。

第1志望校は複数の方式を受験し、併願校は共通テスト利用入試のみにするなど、受験のしかたはさまざま。子どもの合格可能性が高められるよう、出願予定の大学がどのような入試を実施しているかをよく調べ、最適な受験プランを検討しましょう。

地方在住者なら

学外試験で体力を温存できる

近年、多くの大学が地方の会場で受

験できる「学外試験（地方入試）」を実施しています。地方在住でも、最寄りの会場でゆとりをもって受験できるのがメリット。特に複数の私立大学を併願する場合、試験日が連続することも珍しくありません。受験費用はもちろん、子どもの体力も考慮して上手に活用しましょう。また、新型コロナウィルスの感染状況が心配な場合は、長距離移動を避けて近場で受験できるのも利点の一つです。

## タイプ別 私立大学一般選抜の入試方式

### 【タイプ1】 同じ大学・学部・学科を複数回受験できる

方式別入試	同一学部・学科で、入試科目や配点などが異なる複数の入試方式で試験を行う。3教科型入試のほか、1、2教科型や、面接・小論文などで選抜する方式を設けるケースもある。試験日が異なれば併願も可能。
後期入試 (3月入試)	同一学部・学科で、前期・後期というように募集人員を振り分け、試験を2回以上行う。後期試験は3月に行われる場合が多く、前期と後期で選抜方法や入試科目を変えるところが多い。
試験日 自由選択制	一つの学部・学科で、複数の試験日を設定し、都合のよい日を選んで受験できる。試験日は違っても、入試科目は同じ大学がほとんど。また、試験日の数だけ併願を認めるところもあり、受験チャンスが広がる。
全学部統一 入試	学部ごとの試験日のほかに、全学部の入試を同日に一齐に行う方式。受験科目の組み合わせ次第で複数学部を同時に受験できる、学部個別日程との併願によって受験チャンスが広がる、といったメリットがある。

### 【タイプ2】 得意分野が生かせる

得意科目 重視型 (傾斜配点方式)	得意科目の配点が高くなる。次のパターンがある。 ① 受験生が出願時に申請した科目の配点が高くなる。 ② 試験の結果、高得点だった科目の配点が高くなる。 ③ 受験科目のうち高得点だったいくつかの科目だけで合否判定を行う。
-------------------------	--

### 【タイプ3】 地元の近くで受験できる

学外試験 (地方入試)	大学のキャンパス所在地以外の会場で試験を行う方式。最寄りの試験会場でゆとりをもって受験できるだけでなく、交通費や宿泊費なども節約できる。また、学外試験と大学キャンパスで行う本学試験が別の日程で実施される場合、両日程受験できて、受験機会が増えるケースもある。
----------------	--

## 一般選抜の種類(日本大学の例)

A個別方式	N全学統一方式
各学部が独自に試験を実施する。	同一の試験日、同一の問題で複数の学部(学科)を併願できる。
C共通テスト利用方式	CA共通テスト併用方式
共通テストの得点を利用して合否を判定する。	共通テストの得点と学部独自の試験の結果を統合して合否を判定する。

※2022年3月時点での入試情報です。

# 総合型選抜

大学が求める能力や「アドミッション・ポリシー」との合致を評価する

## 受験生の適性と意欲で合否が決まる

「総合型選抜」（旧・AO入試）は、大学が求める学生像を示したアドミッション・ポリシーをもとに実施される入試。受験生の個性や適性、志望理由と意欲、大学との相性が総合的に評価される入試。国公立・私立を問わず多くの大学が導入しており、一般選抜より早く実施されることもあり、合格のチャンスを広げられるとして年々受験者数を増やしています。

2021年度入試からは、各大学が実施する評価方法に加え、共通テストや小論文など、なんらかの形で学力評価が必須となりました。

## 入試内容や選抜方法が大学によって大きく異なる

総合型選抜では、その大学で学ぶ意欲や入学後の目標が重視されます。学校長の推薦は、原則として必要ありません。大学・学部ごとの条件を満たせば出願できます。入試内容は、主に書類審査、特技や資格の審査、面談・面接です。書類審査では高校が作成する調査書、受験生が作成する志望理由書、活動実績報告書をもとに判定します。

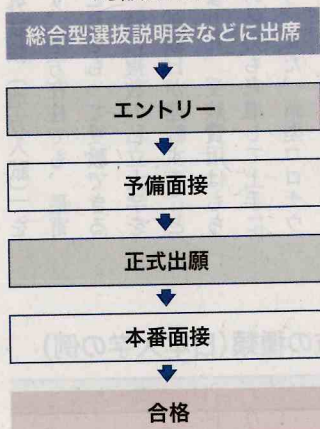
志望理由書には、「なぜその大学で学びたいのか」を記述します。活動実績報告書では、部活動、生徒会活動、ボランティア活動などの経験や実績をアピールします。ただし、これはあくまで一例で、研究レポートや小論文の提出を求める大学、口頭試問やプレゼンテーションを実施する大学もあります。44ページに入試の具体例を掲載していますので、参考にしてください。

総合型選抜の願書受付開始時期は

「9月1日以降」です。一般選抜に比べて選考時期も合格発表も早いいため、入学金の準備には注意が必要です。大学によってはオープンキャンパスでエントリーを受け付けたり、面接を実施したりするほか、模擬授業への参加を出願条件とすることがあります。志望理由も掘り下げられるので、子ども本人が受験する意志を持っているのであれば、オープンキャンパスに参加するようアドバイスしましょう。

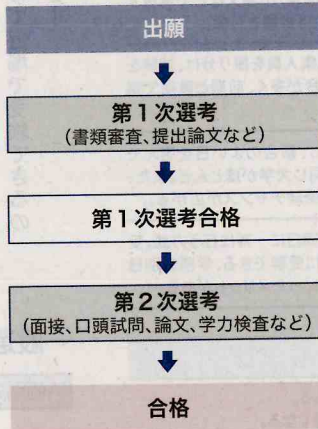
## 主な総合型選抜(旧AO入試)のパターン

### 対話重視型



入試説明会やオープンキャンパスに参加して、エントリーを行う。面談を通して双方が理解を深め、受験生と大学側が合意したうえで、正式に出願するパターンが多い。

### 書類・論文重視型



出願時に提出する論文やエッセーと書類で第1次審査を行う。この合格者に対して、論文や面接などの第2次審査を行い、最終的な合否が決定する。

※2024年度以降の入試については、大学の発表資料を必ずご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症により、各大学の行事、イベント、オープンキャンパスなどが中止、オンライン実施になっている可能性があります。詳しくは、各大学のウェブサイトでご確認ください。

# 学校推薦型 選抜

高校生活全般の  
努力を評価

## 私立大学の約4割は 学校推薦型選抜での入学

受験方式として年々存在感を増している学校推薦型選抜(旧・推薦入試)。特に私立大学全体では、\*入学者の4割が旧・推薦入試で入学しています。学校推薦型選抜は「指定校推薦」と「公募制推薦」の2種類があります。保護者の世代によく知られているのは「指定校推薦」でしょう。夏休み明けに校内選考を行う高校が多いので、受験を希望するのであれば、三者面談などで担任の先生に相談しておきましょう。

「公募制推薦」は、学校長の推薦があつて、大学が定めた条件を満たしていれば、誰でも出願することができます。公募制にも種類があり、「一般推薦」は高校の卒業成績に基準を設け、面接や小論文の試験結果を加味して選抜を行います。一方の「特別推薦」は、部活動や資格取得などの実績、経験などから受験生の個性や能力を評価します。地方の大学の医学部医学科や教育学部は、将来その地域で活躍する人材を確保するために、地元や近隣出身者などを対象とする「地域枠」を設けているケースもあります。

## 学力だけでなく 日ごろの努力も評価する

学校推薦型選抜は主に書類審査で合否が決定されます。調査書に記載される学習成績の状況や学習成績概評(左図)、生徒会活動や課外活動の実績などが評価されます。高校の成績や部活動の実績に自信があるのであれば、合格のチャンスを増やすためにも、ぜひ学校推薦型選抜での受験を考えてみましょう。ただし、国公立大学の学校推薦型選抜は学力試験として共通テスト

を課すケースがよく見られます。日ごろから勉強を欠かさず、共通テストでも実力を発揮する準備をしておくことが大切です。

なお、学校推薦型選抜には他大学との併願が認められない「専願」条件があります。「専願」で合格すると入学辞退は認められません。国公立大学のほとんどの学校推薦型選抜は「専願」で実施され、私立大学の指定校推薦も原則「専願」です。ただし、私立大学の公募制推薦は併願が可能な場合もあります。

## 学習成績の状況と学習成績概評

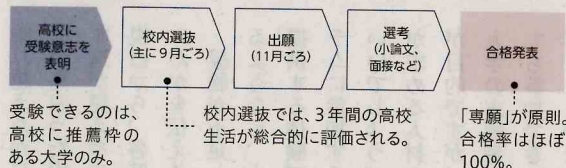
調査書に記載される学業成績の基準となるのが「学習成績の状況」と「学習成績概評」です。

全体の学習成績の状況 =  $\frac{1年\sim 3年生1学期(または前期)までの全教科・科目の評定の合計}{全科目数}$

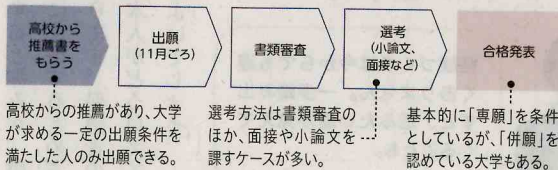
\*全体の学習成績の状況：高校1・2年の学年末と3年1学期(または前期)の全教科・科目の評定の合計を科目数で割ったもの。

学習成績概評	A	B	C	D	E
全体の学習成績の状況	5.0~4.3	4.2~3.5	3.4~2.7	2.6~1.9	1.8以下

## 指定校推薦



## 公募制推薦



\*38ページ「入試制度別入学者数の割合」(2022年度)参照。  
\*2024年度以降の入試については、大学の発表資料を必ずご確認ください。



# 総合型選抜で 受験するなら

保護者世代には聞き慣れない「総合型選抜」。子どもにも受験を相談されたら、何と答えますか？適性、可否の観点、本番に向けた準備など、その特徴を理解し、サポートに役立ててください。



桜美林大学  
高大連携コーディネーター  
**今村 亮さん**

多くの教育事業を手掛ける「教育コーディネーター」。特に探究学習に知見があり、桜美林大学では多様な探究体験を提供する「ディスカバ！」を運営。

## そもそもうちの子 総合型選抜に向いているの？

総合型選抜は、学力があれば受かる、受賞歴や資格があれば受かる、という入試ではありません。では何が必要なのか。向いているのは、次の3つを持つ子どもです。

1つ目は、何かに打ち込んだ経験。部活動、行事、探究学習、校外活動など、対象は問いません。大切なのは、本人の意志で、主体的に取り組んだ活動であること。特別な成果が出ていなくても、途中で挫折していても、今後を生かそうとする姿勢があるな

ら大丈夫です。

2つ目は、その経験から得た学びや成長を振り返り、言語化する力。

例えば日々の活動や気持ちをSNSでわかりやすく発信できていれば、素質があります。逆に、人に言われたことを黙々とこなしただけで、過程や成長を言葉にできないようだと、優秀な成果が出ていたとしてもあまり向いていません。

3つ目は、目標。早めに目標が決まっていれば、その分、多くの経験を積めます。総合型選抜への挑戦と、出願大学の決断は、遅くとも6月までに行う必要があるでしょう。

## STEP 1

経験や学びを  
振り返りましょう

主に  
春～夏

総合型選抜で大学が重視するのは、経験から得られた強み（自己PR）と、未来に向けたビジョン（志望動機）の結びつきです。両者の筋が通っている人ほど、意欲的に学ぶと考えられるからです。

結びつきを強めるには、経験や学びの振り返りが大事。強みやビジョンがぼんやりしている人に勧めるのが、横軸を年齢や学年、縦軸を感情の上下とする、人生の浮き沈みグラフの作成です。失敗や挫折による落ち込みをどう

乗り越えたかに注目すると強みが、感情が高ぶった出来事に注目するとめざす道が見えやすくなります。保護者の視点から、各時期の本人がどう見えていたかを伝えるのもよいでしょう。

経験が不足してい

るようなら、大学が提供する体験プログラムの参加するのもいいでしょう。自学が求める人材の育成が目的ですが、その大学の志願者でなくても参加できるプログラムも少なくありません。

経験づくりは今からでも遅くありません。一歩踏み出すと、進みたい道が見えてくることも。



桜美林大学では…

### ディスカバ！ 探究プログラム

何かに打ち込んだ経験をつくりたい高校生のために、体験型のプログラム（来場型/オンライン型）を多数提供。志望大学を問わず参加でき、正解のない課題に仲間と共に取り組む。



#### — 過去に開催されたプログラムの例 —

- ディズニー研究会【ディズニーの新企画を提案しよう】
- 演劇・ダンスワークショップ【理論と実践から学ぶ2日間】
- SDGsの冒険【環境編】【環境問題の分析を体験しよう】

## STEP 2

求められる  
力を知り、  
出願しましょう

主に  
春～秋

最初から総合型選抜での受験を前提にすると、大学選びの視野が狭くなってしまいます。まずは目標実現に適した大学・学部を選び、その後、向いている選抜方式を探りましょう。

必ず目を通しておきたいのが、アドミッション・ポリシーです。繰り返し出てくるワードに注目すると、その大学・学部、あるいはその選抜方式で求められている人物像を捉えやすくなります。

桜美林大学では…

### — 基礎学力方式 —

出願書類：志望理由書等  
一次審査：基礎力検査  
二次審査：面接（出願書類の記載内容の確認を含む）

### — 総合評価方式 —

出願書類：自己申告書、活動報告書等  
一次審査：書類審査  
二次審査：面接（出願書類をベースとした質疑応答。課題図書の内容理解度を含む）

### — 探究入試 Spiral —

出願要件：探究的な経験を、学内外のコンテストや発表会等で発表した者  
方式種別：プレゼンテーション型  
ディスカバ！育成型  
外部アワード活用型

※本選抜は二段階選抜ですが、ディスカバ！育成型と外部アワード活用型は一次審査が免除となります。細かな出願要件や出願書類等は方式によって異なりますので、同大学の受験生サイトでご確認ください。

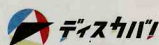
※受験する学群等により詳細は異なります。同大学の受験生サイトでご確認ください。



総合型選抜でも学力試験を課す大学が増えています。前年からの追加や変更にご注意を！

選抜方式を調べるときは、まずは出願要件をチェック。取得資格や活動実績がないと出願できない場合があります。他大学との併願ができる大学もあり、その場合は複数大学への出願が視野に入ります。次に、提出書類や試験の内容を確認します。書類の記入項目、面接の形式、小論文の有無など、大学・学部や選抜方式によって内容が大きく異なるので、力が発揮できる出願先をよく考えて選びましょう。

桜美林大学では…



### 総合・推薦型入試準備セミナー

独自のワークブックを使って、書類の作成方法について学べるセミナー。毎週オンラインで開催される「入門編」、毎月キャンパスで開催される「実践編」がある。



## STEP 3

書類を仕上げ、  
試験の  
準備をしましょう

主に  
夏～秋

総合型選抜で課される書類や試験は、強みとビジョンをアピールする場です。結びつきをわかりやすく表現し、大学に理解してもらう必要があります。

そのために不可欠なのが、第三者に見てもらうこと。書類の作成、面接や小論文の練習いずれにしても、複数の先生や保護者など、なるべく多くの人の目を通して、誰が見ても（聞いても）伝わりやすい話になるまで修正を続けます。言葉で自分を発信することに慣

れていないと大変な工程ですが、この作業自体が自己理解やキャリア観を深め、子どもを大きく成長させるはずですね。

晴れて合格できたら、入学後までの数か月間を有効に使いましょう。オンライン留学を含めた短期海外研修など、期間を生かした挑戦ができるといいですね。

総合型選抜のように、自分を知り、伝える力が問われる入試では、客観的な視点が大切です。共に進路を考え、ときに話し相手、練習相手になることが、子どもの挑戦を支えます。



「受験生サイト」で総合型選抜の詳細や進路応援イベントの最新情報をチェック！



取材協力

## 桜美林大学

- 町田キャンパス：東京都町田市常盤町 3758
- 新宿キャンパス：東京都新宿区百人町 3-23-1

問い合わせ先  
入学部インフォメーションセンター  
TEL. (042) 797-1583

大学パンフを取り寄せる

＼巻頭～巻末のはがきにコードを記入 /

大学パンフコード **3234**

【送付物】大学案内など  
【発送時期】随時  
【料金】無料